

世帯と人口

9月1日現在・()内対前月比
 世帯 47,038 (+ 89)
 人口 123,515人 (+197)
 男 62,852人 (+ 89)
 女 60,663人 (+108)

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



～あなたも活動してみませんか～

市民を守る消防団

日ごろから地域の安全と安心を確保するため、地域ぐるみの消防防災体制の中核として重要な役割をはたしている「消防団」。今回は、消防団と消防団員の活躍をお知らせします。

消防団は、消防本部や消防署とともに各市町村に設けられる消防機関です。海老名市にも1団15分団が設置され、228人の団員が市民の「生命と暮らし」を守るために、日夜活動しています。

消防団とは：

消防団員は、非常勤の地方公務員となります。専門の消防署員とは違い、消防を本業として生計を立てているわけではありません。それでは生業を持つた地域住民のみなさんが、自分の意思で入団、地域のために活動しています。

もし、災害活動中にけがなどを負った場合など、市の条例に基づいてその損害を補償する制度があります。また、一定期間団員として活動した方が退団した場合には、退職報償金が支給されます。

事業主のみなさんへ



消防団員の多くは、会社勤めのいわゆるサラリーマン団員です。サラリーマン団員が勤務中に災害現場に出動したり、会社を休んでまで火災や消防訓練に参加することは本当に大変です。消防団活動により、企

業戦力が失われるということも理解しておりますが、市民の生命や暮らしを守るため、地域のため活動している消防団へのご理解と入団に対するご配慮をいただき、暖かいご支援とご協力をお願いします。

戦後最大の災害となつた阪神淡路大震災。テレビからは、破壊の凄まじさとともに復旧作業に励む人たちの様子が伝えられました。被災現場では、消防団による消火や救助活動、避難誘導、救援物資の搬送などが行われ、人々の暮らしを守る活躍を見せました。同時に多発する火災や家屋倒壊など、消防署の能力を越える大規模災害が発生した場合には、地域に密着する消防団の力が發揮されます。

火災予防期間中の夜間パトロールや地域イベントに積極的に参加するなどの地元に根付いた活動により、各家庭の家族構成や地域状況を的確に把握。すばやい対応は、効果的な災害救助活動に繋がります。消防団員になることにより、人との出会いが多くなり人生経験も豊かになると同時に、地域から認められ尊敬されるようになります。安らぎのため、ぜひ、みなさんの力をお寄せください。

消防団員募集

現在、消防団では新規団員を募集しています。応募

資格は、市内に在住する18歳以上の健康な男性。入団する分団は、居住する住居地域の分団になります。

団員になることにより、人との出会いが多くなり人生経験も豊かになります。安心して暮らせる街づくりのために、ぜひ、みなさんの力をお寄せください。

地域に密着した活動